



— 主題 —

- 西宮クラブ会長 「一期一会 小さなことをコツコツと」 廣瀬一雄
 EMC事業主査 「まず足元を見つめなおすことから始めよう！」 濱 浩一
 六甲部部长 「寄り添い、分かち合い～三方よして、みんな笑顔」 大野智恵
 西日本区理事 「未来への挑戦」
 「羽ばたこう！2022年ワイズ100周年に向かって！」 新山兼司
 アジア会長 「100年を超えて変革しよう」
 スローガン「健康第一」 大野 勉
 国際会長 「世界とともにワイズメン」
 スローガン「愛と尊厳で世界をいやそう」 Kim Sang-Chae

2022年
3月

887号
(75期9号)

3月 西日本区強調活動

- CS さぁ開けよう！2030年達成に向かってSDGs17の扉を
 奉仕活動は全てのSDGsを支援しています
 河原正浩 地域奉仕・環境事業主任（京都トップス）
 Menettes 「ワイズと共に奉仕の笑顔」「広がる輪・寛容の心」
 竹内芳江 メネット事業主任（岡山）



西宮ワイズメンズクラブ 2022年3月第一例会

- 日時：3月11日(金) 19:00～21:00
 場所：西宮 YMCA 3階会議室
 まん延防止延長のためZOOM併用ハイブリット開催
 ドライバー：山口政紀メン、宮地京子特別メネット
 1. 開会点鐘・挨拶 会長 廣瀬一雄
 2. ワイズソング 一同
 3. 聖句朗読 藤田良祐
 4. 食前祈祷 山口政紀
 5. ゲスト紹介 廣瀬会長・山口政紀
 6. 会食 一同
 7. スピーチ：なすべきわざのために
 ～西宮市政の現場から～
 西宮市議会議員 たかの しん(鷹野伸)様
 8. お誕生日お祝い
 9. ワイズニュース
 10. YMCA ニュース
 11. 閉会点鐘 会長 廣瀬一雄

HAPPY BIRTHDAY / MARCH
 11日 万本敬一メン 24日 藤原俊夫メネット

今月の聖句

「何事も不平や理屈を言わずに行いなさい。そうすればとがめられるところのない清い者となり、よこしまな曲った時代の中で、非の打ち所のない神の子として、世にあって星のように輝き、命の言葉をしっかり保つてでしょう。こうしてわたしは、自分が走ったことが無駄でなく、労苦したことも無駄ではなかったと、キリストの日に誇ることができるでしょう。」

フィリピの信徒への手紙 2章 14～16節
 藤田良祐メン選

2月出席状況

2月第一例会報告に記載

| ファンド | 1月 | 累計 |
|----------|---------|---------|
| ニコニコファンド | ¥ 2,000 | ¥34,010 |
| BF@300 | ¥ 0 | ¥16,500 |
| 震災支援@200 | ¥ 0 | ¥11,000 |

主役員

- 【会長】 廣瀬一雄 【直前会長】 万本 敬一 【副会長(次)】 濱 浩一 【副会長】 石井 恭子
 【書記】 小野 勅紘, 山口 吉郎 【会計】 重村 仁, 濱崎 進一 【監事】 阪根 新, 山口 政紀
 【EMC主査】 濱 浩一 【LD委員】 馬場 貴英 【組織検討安全対策委員】 山口 吉郎 【担当主事】 藤田 良祐

会長メッセージ

会長 廣瀬一雄

三月例会のゲストスピーカーの鷹野さんは宝塚クラブの故ワイズで温厚な今田ドクターのお孫さん。六甲部書記さんの水野ワイズが西宮 YMCA 館長の頃、ランチ委員会というミーティングがあり、学習障害児のプログラムの試験導入検討をしました。当時まだ文部省はじめ各地の教育委員会も未着手の時代。小児科医の今田さんが“やってみられたら”と言われていたのを記憶しています。

今回の例会からは従前のように19時開始の食事あり。お仕事頑張っておられるワイズもぜひ西宮 YMCA に足を運んでください。と申しましたが蔓延防止が延長されそう。ズームハイブリッドとなりました。アットホーム、アットオフィスでもご出席をどうぞ。

ウクライナ支援のお話しができればいいのですが。

3月12日に次期会長・主査研修会が開催されます。会場がコロナホテルなので“出席します”と担当の西日本区次期書記の上村さんに連絡したら、現地には事業主任と部長さんが。ということでズーム出席。で長時間 PC の前にいるので肩が凝りそう。3月19日は第二回六甲部評議会。こちらは時間も短いので是非ご出席ください。



(写真は大阪城公園にて2021年3月)



2月第一例会報告

濱崎 進一

2月18日金曜日 19時より例会が開催されました。オミクロン株の感染が少し落ち着き始めた状況のなかでの例会で、例会の始まる前での雑談では3回目のワクチン接種に話がはずんでいました。

廣瀬会長の開会挨拶、開会点鐘、山口政紀メンの今月の聖句（藤原メンが代読）、藤田担当主事の開会祈祷後、クラブメンバーの馬場貴英メンによる「半導体製造のトピックス」のテーマにてスピーチ。

司会の藤原メンがテーマ紹介にご自身の最近の経験、「湯沸し器が故障し、半導体の修理部品納入に数週間かかる」との導入のお話をされました。

スピーカーの馬場貴英メンは現在半導体企業(株)ソシオネクストに勤務されています。



・半導体市場の現状

現在の半導体業界は、設計・製造の話より部品の値上げをユーザー側に申し入れをするのが仕事になっている状況で、台湾の製造メーカーTSMCは3割の値上げをしている。最近の話題に九州に台湾の製造メーカーTSMCが半導体工場をソニーと共同にて作る話題があります。新工場にDENSO参画の話がすすんでいます。

2019年以降半導体業界の製造は、パソコン用が増加し、自動車産業などの従来半導体がダウン

しています。今年度の後半から来年には従来型半導体が要求数に供給が追いつくと考えられます。現在製造されている半導体プロセスは、5ナノ、6ナノ、7ナノ、12ナノの最新型と、28ナノ、40ナノの従来型がされている。最先端のチップは市場にありますが、古いタイプ（従来型）のチップが不足している。

半導体企業はASIC（メーカー）チップを作る（設計・制作）が製造はしない。アメリカのアップル社などはASSP（汎用チップ）をファブリー（チップ製造メーカー）にチップを製造依頼しています。

半導体の製造期間は4工程（1）製造（2）ASICにて全数検査（3）製造メーカーにもどし手直し（4）ASICにて管理（保存）出荷の工程で120日間かかっている。急ぎの部品の場合には、時として製造部門に製造の工程を前に飛ばして貰うために部品単価を上げて交渉するケースがあります。

ロジック半導体の主なる製造メーカーのシェアは、台湾のTSMCが6割、韓国のサムソン電子が2割、中国のメーカーが2割弱といった状況です。アメリカのインテルが製造部門（工場）をアメリカに作ることを進め、インテルの現状は設計・開発を主とするメーカーですが、半導体製造に投資を始めている。

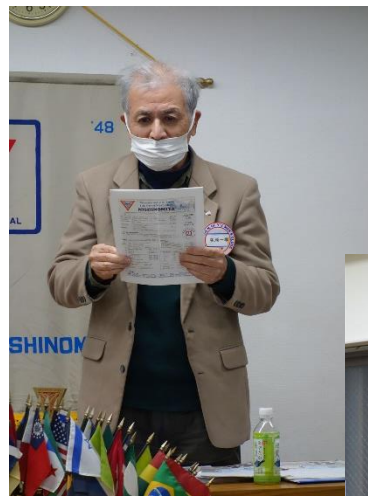
半導体製造メーカートップのTSMCは最近の年間設備投資額は1.5兆円程度を計画している。過去10年間で毎年1兆円程度の投資を実施しているのが今の半導体業界であり、日本の企業ではそこまで投資を出来るメーカーがないのが現状です。

馬場貴英メンが勤務されている（株）ソシオネクストはパナソニック（株）と富士通（株）が人員ともに出資された企業で、半導体などを設計・開発し販売している。最近の半導体を使用しているメーカーたとえば、アメリカではアップル社、日本ではソニー、シャープなどの企業は過去の不況時に人材を整理し、その人材が中国などの後進国に流れ、技術流失の苦い経験を受け企業（業界）は、技術者の人材確保が重要な課題になっている。人材の確保競争にいたっている。

スピーチが終わり、数件の質疑応答がありました。



引き続き、お誕生日のお祝い、廣瀬会長よりワイズニュース、藤田担当主事よりYMCA ニュース



の報告がありました。最後に廣瀬会長より閉会の挨拶・閉会点鐘にて2月例会をとりました。



2月例会はTOFの月で、例会では食事はありませんでした。例会展席者は、浅野、岩田、岡田、小野、重村、馬場（貴）、濱崎、廣瀬、藤田、藤原、山口（吉）、各メン、宮地特別メネット、ZOOM参加は石井、阪根、丸山、山本各メンでした。会場の設営・ZOOM配信をしていただいた藤田担当主事、司会の藤原メン、例会に出席されたメンバーにお礼を申し上げます。

| 2月出席状況（在籍会員数 22名） | | | |
|-------------------|-----------|--|--|
| 第一例会（18金） | 第二例会（25金） | | |
| メン 15名 | メン 14名 | | |
| メネット 1名 | メネット 1名 | | |
| ゲスト 0名 | 合計 14名 | | |
| MU 3名 | | | |
| 合計 18名 | 出席率 81.8% | | |

ウクライナの危機

浅野純一

ロシア軍によるウクライナへの侵攻はショックな出来事です。プーチンが「ロシアには核兵器があることを忘れるな」と恫喝したことは許せないことです。数年前、トランプ米大統領(当時)は北朝鮮に本気で攻撃するのではと思いました。そのとき核戦争の恐れも感じました(恐れた北朝鮮はトランプの時代には核及びミサイル発射事件は行いませんでした)が、今回のプーチンの発言は攻撃を開始してからのことで別次元の恐ろしさを感じます。

震災 6 年前の 1989 年 11 月 9 日、ベルリンの壁が崩壊し冷戦時代が終了したといわれました。私はその頃、伊丹の高校で現代社会や地理の授業を担当していました。振り返れば、時代の急激な展開に興奮し高揚感をもって授業に臨んでいました。そのころを思いながら、今の問題について感じることを書かせてもらいます。

東欧革命に続いて、旧ソ連(以下、ソ連)のバルト三国(リトアニア・ラトビア・エストニア)が 1991 年 8 月に独立し、ソ連の崩壊がいわれ始めました。そのなかで懸念されたのが核兵器の管理問題です。

当時のソ連のゴルバチョフ政権は各地に配備された核兵器をロシアに集めようとしていました。ところが、その途中のクリスマスの夜(1991 年 12 月 25 日)、突然、70 年以上続いた巨大な共産主義帝国は崩壊しました。ソ連の解体は約 2 週間の急激な展開があったので、ソ連内の核兵器はロシア以外に、ウクライナ・ベラルーシ・カザフスタンの 3 か国に残ってしまいました。

核兵器の保有を続ける 3 か国、とくにウクライナは、アメリカ・ロシアに次ぐ世界第 3 位の核大国になっていました。このことは核管理上の大きな問題であり、アメリカ(クリントン政権)・ロシア(エリツィン政権)などは、ウクライナなどに何かあったら守るからと説得して、ついに 3 か国の核兵器放棄の同意を取り付けました(1994 年ブダペスト覚書)。その際、わが国も問題解決のための資金供与をしました。ウクライナが核を保有していたら、今回の攻撃はなかったのかはわかりませんが、

以上のような経過がありながら今回のできごとです。条約などの約束ごとは、いったい何なのだと思います。

いまの世界の秩序の根底にあるのは、核による「恐怖の平和」です。現在「核兵器の力は地球を 30 回破壊させる」といわれます。私などはこの事実を封印して、世界は半永久的に続くのではと思って生活しています。いま、われわれが苦しんでいるコロナ禍はまさかという感じで襲ってきました。核戦争が起こった場合、「まさか」と言っている場合もありません。

ところで、前回の例会で、馬場貴英メンによる半導体に関するスピーチがありました。私が高校教員時代に授業で L S I のことを取り上げましたが、もう現在は、nano(ナノ m=10 億分の 1m)の世界であることを実感させられました。近々、ポケットに入る核兵器が開発されるのではと思ってしまいます。世界はプーチンのロシア軍に抵抗を開始しています。プーチンが追い込まれた場合に暴挙に出ないかを懸念するのですが、侵略者プーチンに対して、団結して勝たなければならないと思います。

(令和 4 年 3 月 1 日)

YMCA ニュース

担当主事 藤田良祐

2021 年度も残すところあと 1 ヶ月になり、子どもたちは進級や進学の時を迎えようとしています。YMCA でも育成センターや保育園、児童発達支援事業、サポートプログラム、YBB など全てのプログラムで子どもたちを送り出す準備を進めています。この時期になるといつも、子どもたちにしてあげられる全ての事が出来たのだろうか？もっと子どもたちの為に何かできる事があったのではないかと自問自答する事が多くなります。この 2 年間、コロナのことを考えない日はありませんでした。子どもたちと十分な時間を過ごす事が出来なかったり、プログラムを中止せざるを得なかったり、全ての指導者が思い通りにプログラムが進められないもどかしさと向き合い続けてきたのではないかと思います。そしてまた、まん延等防止措置の延長が政府で検討されているとかいな

いとか。正直、「またか。。。」という諦めにも似た感情もあります。それでも、不平や理屈を言わず、目の前の子どもたちに今できることを精一杯行っていくことで、いつかこの労苦した日々が無駄ではなかったと誇れる日が来ると信じて、4月からの新しい一年の歩みをスタートさせたいと思います。

1. サポートプログラム 25 周年記念講演

1994 年に西宮 YMCA でスタートした LD クラスがサポートプログラムとして発展し、27 年目を迎えました。2020 年 2 月に予定していた神戸 YMCA サポートプログラム 25 周年記念講演会が新型コロナウイルスの感染拡大により中止になってから 2 年、大阪 YMCA サポートクラスとの共同開催として記念講演会をオンラインで実施しました。YMCA サポートプログラムのスーパーバイザーとして開設当初から熱心にご指導くださっている竹田契一先生、大阪医科薬科大学病院小児科の金泰子先生を講師にお迎えして、子どもたちが「主体的に生きていく力を育むために」と題してお話いただきました。発達に課題がある子どもたちに関わる大人ができることは何かを考える機会になりました。西宮 YMCA の発達支援事業は 28 年目を迎えます。西宮ワイズメンズクラブの皆様には毎年、サポートプログラムをご支援いただいていることに心より感謝申し上げます。



2. 神戸 YMCA 新入職員研修

2 月 26 日 (土) に 2022 年 4 月から新たに私たちの仲間に加わる新入職員の研修会を実施しました。従来は余島で 2 泊 3 日の研修を行っていましたが、この 3 年間はコロナの影響により三宮会館で 1 日に短縮して研修を実施しています。今年は 12 名の新入職員 (公財 1 名、学法 4 名、

社福 7 名) が集まり、礼拝や YMCA 理解、自己開示、キリスト教保育などの研修を受講しました。



まだ緊張の残る若者たちですが、これから共に子どもたちの為に働く仲間として、一人ひとりの働きが神様によって祝されるように祈ります。

ワイズニュース

【今後の予定】

3 月 7 日 (月) デジタル小委員会 石井メン

3 月 10 日 (木) 会長・総主事懇談会

廣瀬メン。濱メン (欠)

3 月 11 日 (金) 第一例会 19:00~21:00

ドライバー：山口政紀メン、宮地特別メネット

3 月 12 日 (土) 西日本区 会長・主査研修会

新大阪コロナホテル&ズーム 13:00~18:30

廣瀬メン。濱メン (欠)

3 月 19 日 (土) 六甲部第二回評議会

3 月 25 日 (金) 第二例会 19:00~21:00

4 月 15 日 (金) 第一例会 19:00~21:00

職員さんとの交流会 H 竹園

4 月 22 日 (金) 第二例会 19:00~21:00

編集後記

ブリテン委員 山口吉郎

北京冬季オリンピック閉幕とほぼ同時にロシアによるウクライナ侵攻が開始されました。今後我が国にも天然ガス等大きな影響が出る可能性も高く、1 日も早い収束を熱望します。オミクロン株は猛威を奮い続けこちらも収束が見通せません。まん延防止対策が延期されそうです。今月はオフラインの交流を期待しましたがまん延防延期でハイブリット例会となります。

